



第30回 「ふるさと時代祭り」

ふるさと時代祭り開催

9月1日、市の一大イベントの「ふるさと時代祭り」が行われました。今年は大名行列が復活して30回目という節目の年であり、また10年ぶりに国道を使用している行列ということで、大変盛大に行われ江戸時代の城下町のにぎわいを再現しました。今回も例年通り関係自治会の皆さんをはじめ、消防団、小・中学生、都留文大生、地元企業の皆さんなど、多くの方々のご協力をいただきました。

大名行列と神楽、屋台の巡行

当日は、市内外からおおよそ1万2千人もの観光客が訪れ、ユーモラスな奴や、りりしいお殿様、可憐なお姫様と腰元、可愛らしい子どもたちなどに、多くの声援が送られていました。

今年は古式に基づき国道139号で四日市場宮本神樂が先導し、大名行列と4台の屋台巡行が競演する予定でしたが、雨のため屋台のそろいぶみはできませんでした。屋台は2台が巡行し、まるで時代絵巻を再現したような光景に途中からの雨にも関わらず治道で見ていた人は引き込まれていました。



祭りの始まり・宵祭り
前日には4町の豪華絢爛な屋台が谷村に繰り出す「宵祭り」が行われました。この日のために一生懸命練習した町内の人々が三味線やお囃子を披露しました。それぞれの町の豪華な屋台の姿と、屋台ごとに特色あるお囃子の演奏競演は圧巻でした。

クライマックスと花火のフィナーレ

大名行列に並行して、メイン会場の谷村第一小学校校庭では威勢のよい和太鼓を始まりとし、保育園・幼稚園、毛槍おどり保存会、連合婦人会、じよいそーらん舞鶴、都留大名連による演技が披露され会場を沸き立たせていました。四日市場宮本神樂が雨の中を負けじと演技を終えると、大名行列が会場に登場しクライマックスを迎え、奴の「ア、ヨイヤマッカ、ヨイ」の掛け声が響き渡り、観客から拍手喝采を浴びていました。

その後、あたりがすっかり暗くなると、フィナーレの花火がにぎわう谷村の夜空を彩り、夏の終わりを華麗に演出していました。



「下にい 下にい」
先目付の掛け声と
「しゃん しゃん
カン カン」
金棒、拍子木の音が響き渡り、
「ア、ヨイヤマッカ ヨイ」
奴たちの威勢の良い掛け声が
谷村の町にこだました。



城下町都留を象徴する
「ふるさと時代祭り」

華やかな行列の出演者
や豪華絢爛な飾り幕を
まとった屋台がかつて
の江戸時代の風景を幻
想的に再現した。

